

シカクのあそび cultivate

KUNST ARZT では、13 年連続となる茨木佐知子の個展を開催します。

茨木佐知子は、事の本質をミニマルに、ユーモラスに表現するアーティストです。

「ジンベエザメ」を描くことからスタートし、その水槽→水族館（建築）→家や画廊の内部空間や台座、そして「シカク」そのものにまで切り詰め、近年は、七宝焼による「シカク」を核として様々なモチーフを展開しています。

本展では、植物のイメージに用いる七宝焼と、コルク粘土で造形した土のイメージによる、『耕す /cultivate』をテーマに展開します。

(KUNST ARZT 岡本光博)

助成：石井慶治財団



田園ゲーム

board game/field

2024

S0 パネル：180×180×20mm

コルク粘土、石粉粘土、水性塗料、木製パネル

経歴

1980 京都府生まれ
2002 京都市立芸術大学 美術学部 美術科 油画卒業

個展

2010, 2011 「茨木 佐知子展」 GALLERY はねうさぎ（京都）
2012 「茨木 佐知子展 AQUARIUM」 KUNST ARZT（京都）
2013 「AQUARIUM -place-」 KUNST ARZT（京都）
2014 「AQUARIUM “in the box”」 KUNST ARZT（京都）
2015 「AQUARIUM unnatural」 KUNST ARZT（京都）
2016 「AQUARIUM sign」 KUNST ARZT（京都）
2017 「quadrangle」 KUNST ARZT（京都）
2018 「□と□」 KUNST ARZT（京都）
2019 「シカクのセカイ -garden-」 KUNST ARZT（京都）
2020 「シカクのセカイ rebuilding」 KUNST ARZT（京都）
2021 「シカクのあそび toy box」 KUNST ARZT（京都）
2022 「シカクのあそび treasure box」 KUNST ARZT（京都）
2023 「シカクのあそび fragment」 KUNST ARZT（京都）

グループ展、その他

2007～2014 「BOX 美術館展 6～12」 GALLERY はねうさぎ（京都）
2010 「ART 100 in CD CASE」 GALLERY はねうさぎ（京都）
2011 「七夕の箱 exhibition2」 GALLERY はねうさぎ（京都）
2012, 2014 「第七感展 2, 3」 GALLERY はねうさぎ（京都）
2012 「KUNST ARZT preview」 新風館（京都）
2013 「年賀状展 4」 GALLERY はねうさぎ（京都）
2013～2015 「2013 展」～「2015 展」 GALLERY ARTISLONG（京都）
2012～2024 「K2 展」vol.5～15 京都市美術館 別館（京都）
〈2017 のみ〉アートギャラリー博宝堂（京都）

2024 年 12 月 3 日（火）から 8 日（日）

12:00 から 18:00

会 場：KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT 代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

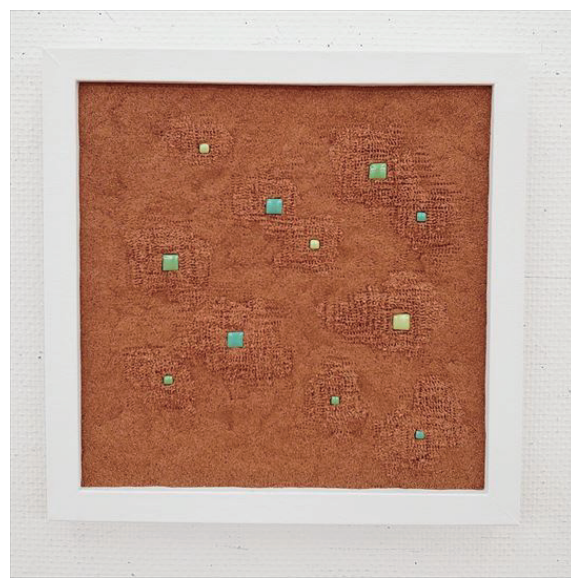
茨木 佐知子 個展
IBARAKI Sachiko solo exhibition



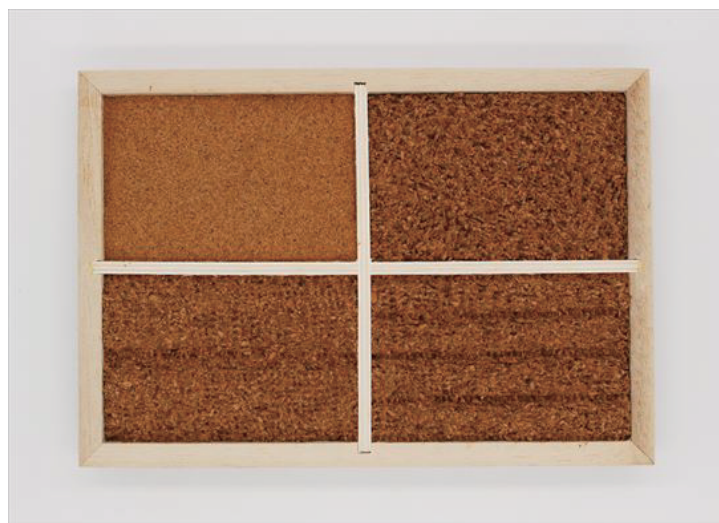
シカクのあそび
cultivate

アーティスト・ステートメント / 展覧会コンセプト

コルク粘土を使用して制作している時、ふとあることを思い出しました。
確か中学の英語の授業だったと思うのですが、『culture/文化』と『cultivate/耕す』の語源が同じものであると聞いた記憶です。
『長い年月を経て自分の中で積み重なってきたものが、作品として生まれてきている』
深夜、コルク粘土を無心に耕しながら、そんなことを実感しました。



植える・芽吹く・花咲く grow
2024
300×300×22mm
七宝焼、コルク粘土、石粉粘土、シーナリーパウダー、木製パネルにリキキャン、ジェッツ



畝立て board game / furrow
2024
110×160×20mm
コルク粘土、石粉粘土、木製ケース



植える・芽吹く・花咲く grow
2024
K2展での展示風景